

第4グループ		1 発行状況					2 発行・配布				3 編集体制		
				(1) 発行回数・発行部数 (1回あたり)	(2) 発行時期(発行月)	(3) 平均発行所要日数	(4) 配布先 (各世帯以外で)	(5) 年間発行経費 (令和5年度見込み)	(1) 編集委員会名	(2) 編集委員及び担当職員数	(3) 編集作業		
南小国町 『議会広報南小国』	議会単独	年4回 1,600部	5月、8月、11月、2月	50日	学校、 図書館、 物産館、 銀行窓口など	(予算) 917,000円 1部あたり約 143円	議会広報調査対 策特別委員会	編集委員4人 担当職員1人	議員・事務局合同				
御船町 『あおぞら21』	議会単独	年12回 6,000部	1月～12月の毎月月末	16日	各課、 社会福祉協議 会、広域連合、 近隣町村議 会、県議長会	(予算) 2,700,000円 1部あたり約 38円	議会広報編集特 別委員会	編集委員6人 担当職員1人	議員・事務局合同				
芦北町 『芦北町議会 だより うたせ』	議会単独	年4回 6,700部	5月、8月、11月、2月	50日	地域振興局、 警察署、JA、 町有温泉等施設、 福祉施設など	(予算) 2,840,000円 1部あたり約 106円	議会広報委員会	編集委員6人 担当職員2人	議員・事務局合同				
五木村 『五木村議会 だより やまめ』	議会単独	年4回 600部	4月、7月、10月、1月	30日		(予算) 270,000円 1部あたり約 113円	広報委員会	編集委員4人 担当職員1人	議員・事務局合同				
苓北町 『苓北町議会 だより きずな』	議会単独	年4回 2,700部	4月、7月、10月、1月	30日	特になし (町HPにもPD Fファイルとして 掲載している)	(予算) 1,021,680円 1部あたり約 95円	議会広報特別委 員会	編集委員5人	議員のみ				
産山村 『議会だより 産山』	議会単独	年4回 600部	5月、8月、11月、2月	45日	学校、 福祉施設	(予算) 400,000円 1部あたり約 167円	広報特別委員会	編集委員4人 担当職員1人	議員・事務局合同				
高森町 『高森町議会 だより 絆』	議会単独	年4回 2,700部	5月、8月、11月、2月	50日	役場各課・局、 近隣自治体議 会事務局	(予算) 700,000円 1部あたり約 65円	議会広報特別委 員会	編集委員4人 担当職員1人	議員・事務局合同				
球磨村 『球磨村議会 だより』	議会単独	年4回 1,300部	5月、8月、11月、2月	25日	全世帯	(予算) 770,000円 1部あたり約 148円	球磨村議会広報 対策特別委員会	編集委員4人 担当職員1人	議員・事務局合同				

第4グループ	4 一般質問の掲載						
	(1) 文字数の制限 (1人あたり)	(2) 質問原稿の 作成者	(3) 執行部答弁 原稿の作成者	(4) 質問関連 写真の準備	(5) 原稿締切日	(6) 上記以外で、原稿提出 に関する取り決め事項	(7) 一般質問を広報紙に掲載するにあたり、 気を付けていること、苦労していること
南小国町 『議会広報 南小国』	300字以内	広報委員会	広報委員会	広報委員会 事務局	定例会の翌月10日頃	<ul style="list-style-type: none"> ・スペースは議員1人あたり半ページ ・文字起こしされたデータを基に、実際の発言内容から要約をする ・1問につき300文字程度でまとめること ＊1項目質問の場合：300文字の原稿+関連する写真2枚 ＊2項目質問の場合：300文字の原稿×2本 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでは、広報委員会のメンバーが原稿作成していたので、質問された議員本人が何を最も伝えなかったのか、ポイントが合っているのか、分からない時は苦労した ・2023年改選により、広報委員会も入れ替えがあったので、改選のタイミングに合わせ、一般質問原稿作成も広報委員会から議員本人へ変更した
御船町 『あおぞら21』	1,000字以内	議員本人	議員本人 執行部	議員本人	一般質問があった議会翌月の2週末	<ul style="list-style-type: none"> ・文字数の厳守と写真・イラストの提出（必ず1枚は写真かイラストを載せる事） 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的な構成、文字数など
芦北町 『芦北町議会 だより うたせ』		議員本人	事務局	事務局	第1回広報委員会後約2週間		広報委員以外の議員の一般質問記事で、伝えたい要点が取り上げられているのか。
五木村 『五木村議会 だより やまめ』		議員本人	議員本人	執行部 事務局	第1回広報委員会の日まで	月末の区長会で全世帯への配布を行うので、原稿の締め切りの徹底をお願いしている	質問、内容を要約するので、読者に伝わりやすく明瞭・簡潔にすること。
苓北町 『苓北町議会 だより きずな』	A4 1/2ページ以内	議員本人	議員本人	議員本人	議会定例会閉会日から原則10日後の日まで	口語体さらには文末表示の型は常体での作成（文末を「だである」をお願いしている）	
産山村 『議会だより 産山』		議員本人	議員本人	事務局	広報委員会開催3日前まで		一般質問については、議員本人にまとめていただき掲載しているが質問が何件もある議員もいるため委員会で調整する必要があり原稿の編集が本人の意図しないことがあった場合の調整に苦慮している。
高森町 『高森町議会 だより 絆』	600字以内	議員本人	議員本人	議員本人	第2回議会広報特別委員会開催の1週間前まで		
球磨村 『球磨村議会 だより』	1,100字以内	広報委員会	広報委員会	広報委員会	広報委員会開催の1週間前まで	<ul style="list-style-type: none"> ・表紙の写真は委員長が担当 ・編集後記は、広報委員が順番に担当 	一般質問の原稿、編集は広報委員が行うため、事前に議事録を質問議員に渡し、質問の意図、伝えたい部分にマーカーを入れてもらい編集している

第4グループ	5 企画・特集記事			6 読んでもらうための工夫		7 その他	
	(1) 定期的に、企画や特集記事として掲載しているもの (例 住民紹介、追跡記事、議会用語解説 など)	(2) 定期的ではないが近年、特に力を入れた(チャレンジした)もの	(3) 今後取り上げてみたいテーマ(計画を含む)	(1) 住民に読んでもらうために「紙面上」で工夫しているところ	(2) 「紙面以外」で工夫していること(計画を含む)	(3) 今後工夫したいと考えていること(実現するかどうかは関係なく)	
南小国町 『議会広報南小国』	<ul style="list-style-type: none"> ・裏表紙では「町民インタビュー」を掲載。 ・なかなか表には出ないけど、町内で挑戦し何かを頑張っておられる方・町の暮らしを支えている方に焦点を当て、独自で取材・撮影・制作を行っている。「町民インタビュー」の記事を見て、新聞記者が取材に行かれて新聞記事になったことも数回あり、読者からも好評をいただいている。 ・特集記事を毎月組むようにしている。 ・各種事業等、審議した案件がその先どうなったのか追跡調査をするため、現地取材をし特集記事として掲載している。 ・毎年12月に行われる中学3年生による「子ども会議」の内容を2月発行号で特集として掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・議会側からの一方的な広報だけでなく、広聴も必要と考え、初めて読者アンケートを行った。 ・アンケートは郵便、FAX、オンライン、持参と4つの手段で回答できるようにし、結果42通の回答をいただいた。(全世帯に対する回答率3%)、読者アンケートをとった次の号でアンケート結果を掲載した。 	広報委員会の中で協議中	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは手に取ってもらうための取組みとして、表紙と裏表紙(「町民インタビュー」)では町民の写真をカラーで掲載している。 ・*家族や親戚、ご近所さんなどご自身の知っている人が載っていたら手にする確立が上がるだろうと考え、保育園生から90代の方まで幅広い年齢の方に登場いただいている ・表紙では季節感のある風景を撮影し掲載している。 ・*1枚だったり、10枚ほどを組み合わせでデザインしたりしている。 	公共施設等だけでなく、近隣のスーパーや物産館、銀行窓口などにも置いていただいている。また、個人のSNSでも広報発行のお知らせを毎回投稿している。	町民と意見交換できる場を設けることができると考えている。	各町村議会の先進的な取組等を学ばせていただきたい。
御船町 『あおそら21』	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末ページに町民参加の「かがやく人」のコラム ・議会の開催予定等 	表紙の題字(御船高校の書道部)	町内の各グループとの意見交換、要望聴取	配置やイラストを使用してわかり易く文面を工夫している。	高校生(18歳以上で選挙権を有する学生)への議会への要望を聞く。議会への関心を広く集める工夫をする。	町内の小中学生に議会への関心を喚起する。(議会見学・訪問など)	写真の活用法以外に、わかり易い紙面にするための工夫をどのようにしているのか。
芦北町 『芦北町議会だよりうたせ』			広報委員会から全議員に対し、企画や特集記事の提案がないか、募集を依頼している。	写真等を掲載して、文字数を減らし、レイアウトを工夫して見やすい紙面となるよう意識している。	議会開催時期に防災無線やホームページで会期日程等をお知らせし、議会への傍聴案内等を行い、議会への興味を促す。	広報紙のQRコードを読み込むと、議場での一般質問の動画が視聴できるようにする。	
五木村 『五木村議会だよりやまめ』	以前は、小学6年生全員(少ないときは5年生含む)に五木村について思うことを掲載。現在は、五木村内の草木を紹介。あれからどうなったコーナーでは、追跡記事を掲載。村人インタビューでは、移住された方などを紹介。			写真やグラフなどを多く掲載し、視覚に訴えるようにしている。			
苓北町 『苓北町議会だよりきずな』							
産山村 『議会だより産山』				表紙を村に植生する植物をシリーズものにしたたり、できるだけ分かりやすくするため、写真や表を添付している。		特集記事を掲載し、その内容の継続調査内容を公表するなど読者が読みたくなるような紙面づくりを行いたい。	事務局が1名であるため、委員会への対応がづらい。
高森町 『高森町議会だより絆』							
球磨村 『球磨村議会だより』	最終ページには、小中学校の学年紹介を掲載している。			<ul style="list-style-type: none"> ・議会の一般質問や特別委員会活動には写真を掲載して、村の現在の様子がわかるようにしている。 ・予算、決算を掲載するときには、円グラフ等を用いて住民にわかりやすい記事にするよう心掛けています。 			